

グループワーク 事例検討

～相談支援システムの活用で情報収集とレベルアップ！！～

肝炎情報センター 竹内泰江

グループワーク（事例検討）の目的

今回のテーマは

『相談支援システムの活用で情報収集とレベルアップ！！』

- 相談内容の記録・検索・編集
- 公開事例 (1837件公開中)**
- 質問箱
- 相談件数・動向の閲覧
- 患者さんの特徴把握
- 患者さんの特徴把握 フリーワード検索

公開事例

検索条件

▼ 相談内容の分類

<input type="checkbox"/> 病気自体に関して	<input type="checkbox"/> 病気の治療に関して	<input type="checkbox"/> 医療費助成制度に関して	<input type="checkbox"/> 肝炎ウイルス検査に関して
<input type="checkbox"/> 日常生活上の留意点に関して	<input type="checkbox"/> 医療機関に関して	<input type="checkbox"/> 病気の偏見・差別に関して	<input type="checkbox"/> 生活支援について
<input type="checkbox"/> 仕事・就労支援について	<input type="checkbox"/> 肝炎訴訟について	<input type="checkbox"/> その他	

▶ 肝疾患の原因

▶ 肝疾患の病態

▶ (診断・治療・療養) 以外の相談内容の詳細

フリーワード: 任意の語句を入力 複数条件検索: 空白で区切

- 公開事例は記載評価委員による審査をえています
- 疾患に対する助言や対応について、他施設の良いところを参考にしてください

事例検討の進め方

時間	内容
14:25～14:30 (5分)	<ul style="list-style-type: none">・ 自己紹介（名前、所属先）・ 記録者、発表代表者を決める ※医師以外でお願いします
14:35～15:25 (55分)	<p><事例検討></p> <ul style="list-style-type: none">・ 進行係は事例の詳細をご存知です。 ご自身の所属する相談支援室に相談者がいらっしやったと想定して、情報を引き出してみてください。 <p>※事務局のシナリオにない質問があった場合はアドリブ または、会場内を巡回しております、竹内までお声がけをお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 全員が発言できるように、進行係は促しをお願いします・ 最終的に相談支援システムにはどのように登録をするか 具体的な相談内容 相談内容に対する助言・対応 についてまとめてください

- ・ 事前に割り振られている事例をご検討いただき、発表準備をお願い致します。
もし、お時間が余れば他の事例をご検討いただいても差し支えありません。

発表用シート（●グループ、事例△）

具体的な相談内容

相談者は・・・

相談内容に対する助言・対応

上記相談に対し・・・

事例① 意識障害で救急搬送された際に肝硬変を指摘された55歳男性

運転手をしています。COVID-19感染症の煽りで、収入が減り、ストレスでこの4年間は飲酒量が増えました。二日酔いで仕事に行けないこともあり、周囲に酒を控えるように言われています。最近、腹回りが増えて、顔色も良くないと言われていました。自宅を出たところまでは覚えていますが、気付いたら、救急搬送されて、病院にいました。昔、B型肝炎を指摘されましたが、ずっと薬を内服しないといけないと言われてるのが嫌で、特に通院等もしていません。



- 主治医からの勧めで相談支援センターを訪室しました。
- 相談者にはどのように対応しますか？
- どのような支援が必要だと思えますか？

事例② 肝がんに対し肝予備能が悪いため移植検討中の48歳男性

10年前に肝硬変と言われた時にちゃんと通院するべきでした。一昨年は吐血するし、今は肝がんが複数個あると聞いています。肝臓が弱りすぎていて、手術とかはできないって、、移植も考えようって言われましたが、家族の肝臓をもらうのは申し訳ないです。何年生きられるかも、お金も不安だらけです。



父60代

酒が好きでγGTPが高く、脂肪肝があるそうです。

食べ過ぎで体重が増えました。脂肪肝も指摘されました。



妻40代

ドナーになりたいです。ただ、子どもが小さく、夫が消極的です。



娘20代

- 今後の治療が不安で本人・家族が肝疾患相談センター訪室。
- それぞれのご不安にどのように対応しますか？
- どのような支援が必要だと思いますか？

事例③ 肝炎による差別・偏見を不安視している62歳女性

40年前のお産で入院した時にHBV感染を指摘されました。処置や清拭の順番を最後にされたり、腫物扱いされたのがとても辛かったです。病気については、誰にも言っていません。先日、思いがけず、夫の前で肝炎の検査結果を伝えられそうになり肝を冷やしました。娘は妊娠しているようで、知られるのは時間の問題でしょうか…。助成制度の申請等の手続きで自治体担当者にも病気のことが知られるんでしょうか？今、元気ですし、医療機関にかからなくてもいいですよね？

- 主治医の勧めで肝疾患相談センター訪室しました。
- 相談者にはどのように対応しますか？
- どのような支援が必要だと思いますか？